

第2回 岩盤崩壊を踏まえた岩盤斜面点検調査検討会 議事概要

■ 第2回検討会：令和3年8月3日

【議題】

- ・緊急点検の結果等について
- ・今後の道路防災対策完了後の維持管理方法について

【議事概要】

○事務局から追加緊急点検結果及び詳細調査結果について報告し、今後の道路防災対策完了後の維持管理方法について、以下の議論があった。

◇点検結果について

- ・点検は道路防災総点検で着目していた箇所について、過去の点検結果等に基づいて変化を確認するという方法で行われており、結果は妥当である。

◇今後の道路防災対策完了後の維持管理方法について

- ・点検の対象は、特定土工点検の非対象箇所である自然斜面で、待ち受け型の防護対策工による対策箇所とするのが妥当である。
- ・点検頻度については5年に1回程度が適切である。
- ・点検時期については、下草の繁茂の影響が少ないなど斜面状況を確実に把握できる時期が適切であり、凍結融解の影響確認の観点も含め、融雪期とするのは妥当である。
- ・道路管理者や維持業者等が実施する防護工背面の確認頻度を年1回程度とし、別途震度4以上の地震後や大雨後にも確認を行うのは良い。

○その他、委員より以下の意見がなされた。

- ・毎年の確認時や点検時には以後の変化について比較できるよう広範囲に、また目標物を含めて写真を撮影して記録を残しておくが良い。
- ・維持業者が写真による経年変化の比較について判断がつかない場合は、点検コンサルに確認してもらうが良い。
- ・点検の実施にあたっては発生源の変化の有無を確認することが重要である。

以上